

2023 全日本ロードレース 第5戦！

第3戦SUGOから約3ヶ月振りとなる全日本ロードレース選手権。

アジア選手権（ASBクラス）や鈴鹿8耐（EWCクラス）への参戦で変更したマシンの仕様を全日本仕様（JSBクラス）に戻し、後半戦となる「全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 もてぎ2&4レース」を迎えた。

8/19予選：13:50スタート。路面温度54℃、ドライコンディションでの予選となった。マシンの状況を確認しながら走行し、3周目から徐々にペースを上げ4周目のラップタイムは、1分50秒517。その後、タイヤを交換し再アタック。12周目で1分50秒307のベストラップタイムを出し9番グリッドを獲得した。



8/20レース：朝のウォームアップ走行でマシンや走行状況を確認しながらセッティングを決定。午後の決勝レースを迎えた。

秋吉はサイティングラップでマシンの状況を確認し、9番グリッドに着いた。

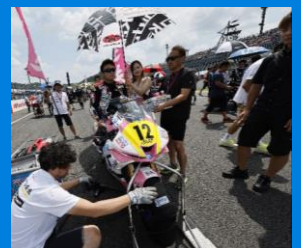
シグナルがレッドシグナルからブラックアウトし全車が綺麗にスタート、オープニングラップはそのまま9番手をキープしながらレースを進めていたが、3周目の他車の転倒事故発生により赤旗中断がされた。

コースクリアが確認され12:55分、残り16周をオリジナルグリッド9番からクイックリスタートで再開した。

秋吉はスタートからなかなかタイムを縮められない中、何とか9番手をキープしレースを進めた。しかし路面温度は鈴鹿の8耐を思わせる様な温度まで上がり、なかなかペースが上げられないままレースは進んでいた、このタイムを上げられない状況で後方からの追い上げから逃れられないまま11周目で後方から迫っていた1台にパスされ、一時は10番手に落ちるも、前方で競っていた1台のマシン転倒があり、最終的に9位でチェッカーを受けた。

【今回のメカニック サポート】 ホンダドリーム世田谷 サービス スタッフ1名

今年もホンダドリームジャパンは秋吉選手のチームにレースサポートを実施、ここもてぎ2&4大会ではホンダドリーム世田谷のスタッフ1名がサポートで木曜に合流、マシン整備など、国内トップカテゴリーのレースに触れ、お客様へフードバックできる貴重な体験と知識を得た。



【第5戦 レース結果】

決勝レース(16周) 秋吉耕佑選手： 9位
第5戦時点ポイントランキング： 10位